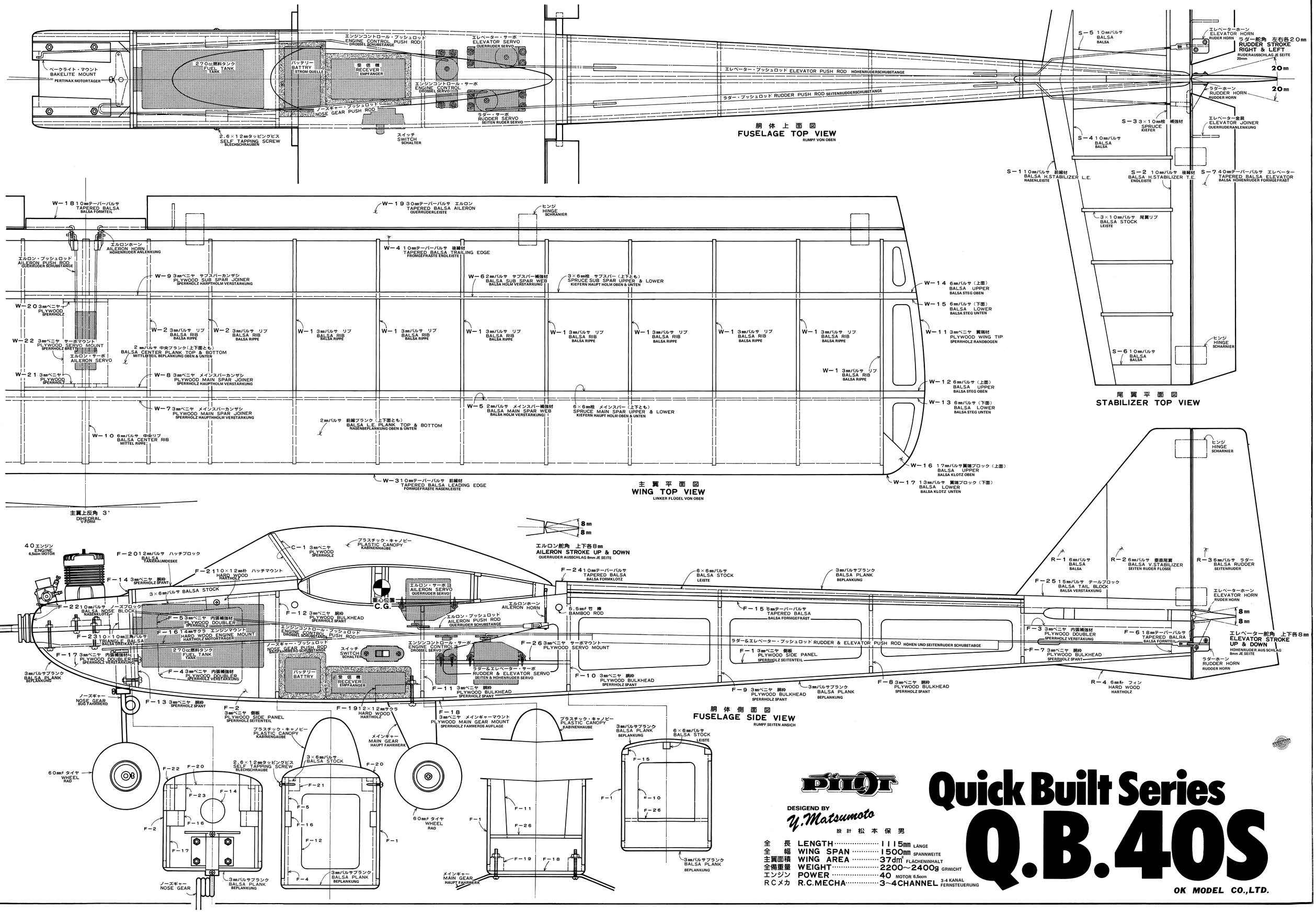
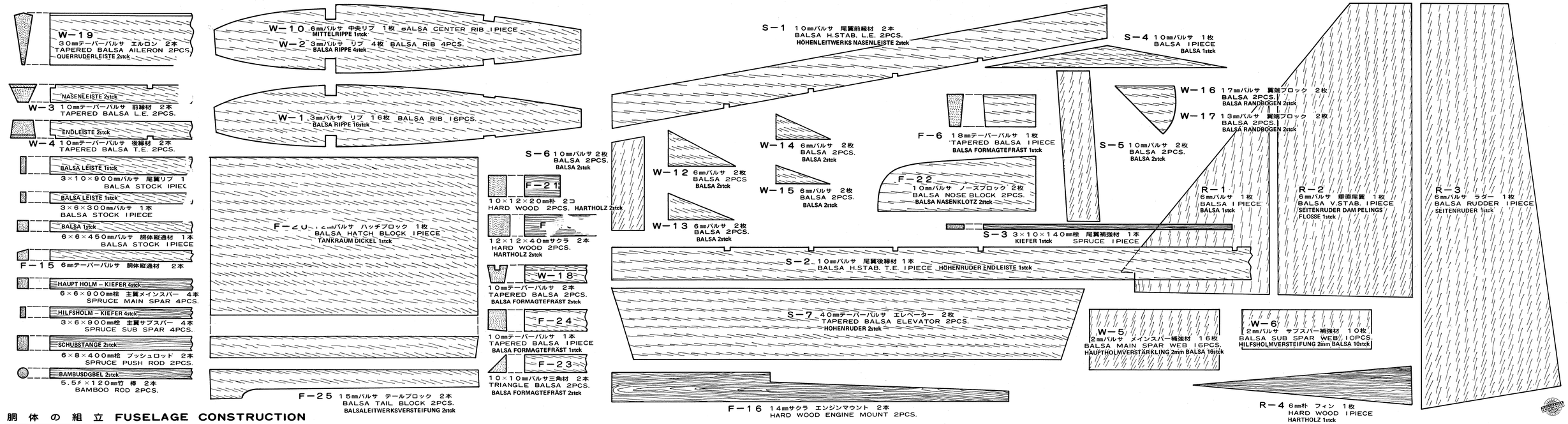
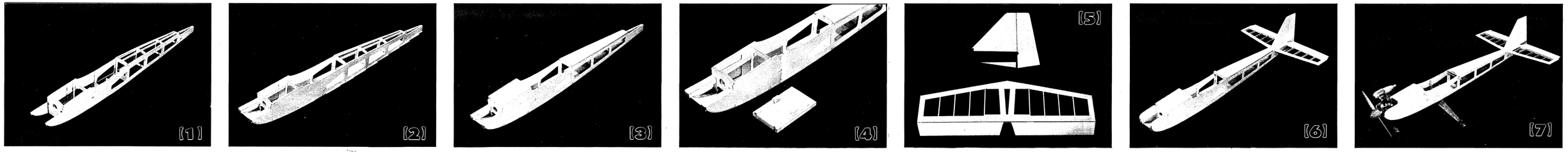
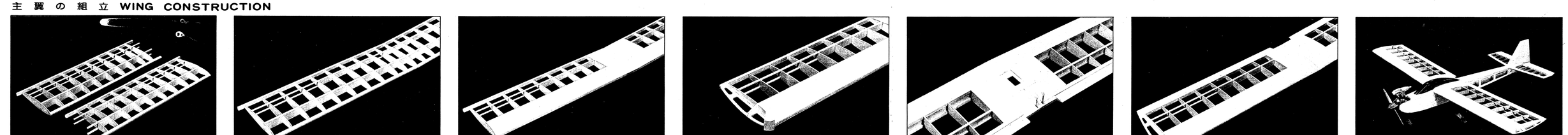

胴体上面図
FUSELAGE TOP VIEW
RUMPF VON OBEN
ベークライト・マウント
BAKELITE MOUNT
PERTINAX MOTORTÄGER
270cc燃料タンク
FUEL TANK
TANK
バッテリー
BATTRY
STROM QUELLE
受信機
RECEVER
EMPFÄNGER
エンジンコントロール・プッシュロッド
ENGINE CONTROL PUSH ROD
DROSSEL SCHUBSTANGE
エンジンコントロール・サーボ
ENGINE CONTROL
DROSSEL SERVO
エレベーター・サーボ
ELEVATOR SERVO
QUERRUDER SERVO
ノーズギャー・プッシュロッド
NOSE GEAR PUSH ROD
ラダー・サーボ
RUDDER SERVO
SEITEN RUDER SERVO
スイッチ
SWITCH
SCHALTER
2.6×12mmタッピングビス
SELF TAPPING SCREW
BLECHSCHRAUBEN
エレベーター・プッシュロッド ELEVATOR PUSH ROD HÖHENRUDERSCHUBSTANGE
ラダー・プッシュロッド RUDDER PUSH ROD SEITENRUDDERSCHUBSTANGE
S−5 10mmバルサ
BALSA
エレベーターホーン
ELEVATOR HORN
RUDER HORN
ラダー舵角 左右各20mm
RUDDER STROKE
RIGHT & LEFT
RUDERAUSSCHLAG JE SEITE
20mm
ラダーホーン
RUDDER HORN
S−3 3×10mm桧 補強材
SPRUCE
KIEFER
エレベーター金具
ELEVATOR JOINER
QUERRUDERANLENKUNG
S−4 10mmバルサ
BALSA
S−1 10mmバルサ 前縁材
BALSA H.STABILIZER L.E.
NASENLEISTE
S−2 10mmバルサ 後縁材
BALSA H.STABILIZER T.E.
ENDLEISTE
S−7 40mmテーパーバルサ エレベーター
TAPERED BALSA ELEVATOR
BALSA HÖHENRUDER FORMGEFRÄST
3×10mmバルサ 尾翼リブ
BALSA STOCK
LEISTE
ヒンジ
HINGE
SCHARNIER
S−6 10mmバルサ
BALSA
尾翼平面図
STABILIZER TOP VIEW
W−18 10mmテーパーバルサ
TAPERED BALSA
BALSA FORMTEIL
W−19 30mmテーパーバルサ エルロン
TAPERED BALSA AILERON
QUERRUDERLEISTE
ヒンジ
HINGE
SCHRANIER
エルロンホーン
AILERON HORN
HÖHENRUDER ANLENKUNG
エルロン・プッシュロッド
AILERON PUSH ROD
QUERRUDER SCHUBSTANGE
W−4 10mmテーパーバルサ 後縁材
TAPERED BALSA TRAILING EDGE
FORMGEFRÄSTE ENDLEISTE
W−9 3mmベニヤ サブスパーカンザシ
PLYWOOD SUB SPAR JOINER
SPERRHOLZ HAUPTHOLM VERSTÄRKUNG
W−6 2mmバルサ サブスパー補強材
BALSA SUB SPAR WEB
BALSA HOLM VERSTÄRKUNG
3×6mm桧 サブスパー（上下とも）
SPRUCE SUB SPAR UPPER & LOWER
KIEFERN HAUPT HOLM OBEN & UNTEN
W−20 3mmベニヤ
PLYWOOD
SPERRHOLZ
W−22 3mmベニヤ サーボマウント
PLYWOOD SERVO MOUNT
SPERRHOLZ ARETÄR
エルロン・サーボ
AILERON SERVO
W−21 3mmベニヤ
PLYWOOD
SPERRHOLZ
W−2 3mmバルサ リブ
BALSA RIB
BALSA RIPPE
W−1 3mmバルサ リブ
BALSA RIB
BALSA RIPPE
2mmバルサ 中央プランク（上下面とも）
BALSA CENTER PLANK TOP & BOTTOM
MITTELTEIL BEPLANKUNG OBEN & UNTEN
W−8 3mmベニヤ メインスパーカンザシ
PLYWOOD MAIN SPAR JOINER
SPERRHOLZ HAUPTHOLM VERSTÄRKUNG
W−7 3mmベニヤ メインスパーカンザシ
PLYWOOD MAIN SPAR JOINER
SPERRHOLZ HAUPTHOLM VERSTÄRKUNG
W−10 6mmバルサ 中央リブ
BALSA CENTER RIB
MITTEL RIPPE
2mmバルサ 前縁プランク（上下面とも）
BALSA LE PLANK TOP & BOTTOM
NASENBEPLANKUNG OBEN & UNTEN
W−5 2mmバルサ メインスパー補強材
BALSA MAIN SPAR WEB
BALSA HOLM VERSTÄRKUNG
6×6mm桧 メインスパー（上下とも）
SPRUCE MAIN SPAR UPPER & LOWER
KIEFERN HAUPT HOLM OBEN & UNTEN
W−14 6mmバルサ（上面）
BALSA UPPER
BALSA STEG OBEN
W−15 6mmバルサ（下面）
BALSA LOWER
BALSA STEG UNTEN
W−11 3mmベニヤ 翼端材
PLYWOOD WING TIP
SPERRHOLZ RANDBOGEN
W−12 6mmバルサ（上面）
BALSA UPPER
BALSA STEG OBEN
W−13 6mmバルサ（下面）
BALSA LOWER
BALSA STEG UNTEN
W−16 17mmバルサ翼端ブロック（上面）
BALSA UPPER
BALSA KLOTZ OBEN
W−17 13mmバルサ 翼端ブロック（下面）
BALSA LOWER
BALSA KLOTZ UNTEN
W−31 0mmテーパーバルサ 前縁材
TAPERED BALSA LEADING EDGE
FORMGEFRÄSTE NASENLEISTE
主翼平面図
WING TOP VIEW
LINKER FLÜGEL VON OBEN
主翼上反角 3°
DIHEDRAL
V-FORM
8mm
8mm
エルロン舵角 上下各8mm
AILERON STROKE UP & DOWN
QUERRUDER AUSSCHLAG 8mm JE SEITE
40エンジン
ENGINE
6.5cm MOTOR
F−20 12mmバルサ ハッチブロック
BALSA
TANKRAUMDESKE
F−21 10×12mm朴 ハッチマウント
HARD WOOD
HARTHOLZ
F−14 3mmベニヤ 胴枠
SPERRHOLZ SPANT
3×6mmバルサ BALSA STOCK
F−22 10mmバルサ ノーズブロック
BALSA NOSE BLOCK
NASENKLOTZ
F−5 3mmベニヤ 内張補強材
PLYWOOD DOUBLER
SPERRHOLZ
F−16 14mmサクラ エンジンマウント
HARD WOOD ENGINE MOUNT
HARTHOLZ MOTORTRÄGER
F−23 10×10mm三角バルサ
BALSA TRIANGLE
LEISTE DREIECK
270cc燃料タンク
FUEL TANK
TANK
F−17 3mmベニヤ 内張補強材
PLYWOOD DOUBLER
SPERRHOLZ VERSTÄRKUNG
F−4 3mmベニヤ 内張補強材
PLYWOOD DOUBLER
SPERRHOLZ VERSTÄRKUNG
3mmバルサプランク
BALSA PLANK
BEPLANKUNG
ノーズギャー
NOSE GEAR
BUG FAHRWERK
F−13 3mmベニヤ 胴枠
SPERRHOLZ SPANT
C−1 3mmベニヤ
PLYWOOD
SPERRHOLZ
プラスチック・キャノピー
PLASTIC CANOPY
KABINENHAUBE
重心位置
C.G.
F−12 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
エルロン・サーボ
AILERON SERVO
QUERRUDER SERVO
エルロンホーン
AILERON HORN
エルロン・プッシュロッド
AILERON PUSH ROD
QUERRUDER SCHUBSTANGE
エンジンコントロール・プッシュロッド
ENGINE CONTROL PUSH ROD
DROSSEL SCHUBSTANGE
ノーズギャー・プッシュロッド
NOSE GEAR PUSH ROD
BUGFAHRWERK SCHUBSTANGE
スイッチ
SWITCH
SCHALTER
エンジンコントロール・サーボ
ENGINE CONTROL
DROSSEL SERVO
バッテリー
BATTRY
受信機
RECEVER
EMPFÄNGER
F−11 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
F−19 12×12mmサクラ
HARD WOOD
HARTHOLZ
F−18
3mmベニヤ メインギャーマウント
PLYWOOD MAIN GEAR MOUNT
SPERRHOLZ FAHWERDS AUFLAGE
メインギャー
MAIN GEAR
HAUPT FAHRWERK
5.5mmφ竹 棒
BAMBOO ROD
F−24 10mmテーパーバルサ
TAPERED BALSA
BALSA FORMKLOTZ
6×6mmバルサ
BALSA STOCK
LEISTE
3mmバルサプランク
BALSA PLANK
BEPLANKUNG
F−15 8mmテーパーバルサ
TAPERED BALSA
BALSA FORMGEFRÄST
ラダー&エレベーター・プッシュロッド RUDDER & ELEVATOR PUSH ROD HÖHEN UND SEITENRUDER SCHUBSTABGE
F−1 3mmベニヤ 側板
PLYWOOD SIDE PANEL
SPERRHOLZ SEITENTEIL
F−26 3mmベニヤ サーボマウント
PLYWOOD SERVO MOUNT
ラダー&エレベーター・サーボ
RUDDER & ELEVATOR SERVO
SEITEN & HÖHENRUDER SERVO
F−10 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
F−9 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
3mmバルサプランク
BALSA PLANK
BEPLANKUNG
F−8 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
R−1 6mmバルサ
BALSA
R−2 6mmバルサ 垂直尾翼
BALSA V.STABILIZER
SEITEN RUDER FLOSSE
R−3 6mmバルサ ラダー
BALSA RUDDER
SEITENRUDER
F−25 15mmバルサ テールブロック
BALSA TAIL BLOCK
BALSA VERSTÄKKUNG
エレベーターホーン
ELEVATOR HORN
RUDER HORN
8mm
8mm
F−3 3mmベニヤ 内張補強材
PLYWOOD DOUBLER
SPERRHOLZ VERSTÄKUNG
F−6 18mmテーパーバルサ
TAPERED BALRA
BALSA FORMTEIL
F−7 3mmベニヤ 胴枠
PLYWOOD BULKHEAD
SPERRHOLZ SPANT
エレベーター舵角 上下各8mm
ELEVATOR STROKE
UP & DOWN
HÖHENRUDER AUS SCHLAG
8mm JE SEITE
ラダーホーン
RUDER HORN
R−4 6mm朴 フィン
HARD WOOD
HARTHOLZ
胴体側面図
FUSELAGE SIDE VIEW
RUMPF SEITEN ANSICH
60mmφ タイヤ
WHEEL
RAD
F−22
F−20
F−23
F−14
F−16
F−2
F−17
ノーズギャー
NOSE GEAR
3mmバルサプランク
BALSA PLANK
BEPLANKUNG
2.6×12mmタッピングビス
SELF TAPPING SCREW
BLECHSCHRAUBE
3×6mmバルサ
BALSA STOCK
F−21
F−5
F−12
F−4
F−1
メインギャー
MAIN GEAR
HAUPT FAHRWERK
F−11
F−26
F−19
F−18
F−15
F−10
F−1
DESIGEND BY
Y.Matsumoto
設計 松本保男
全長 LENGTH 1115mm LÄNGE
全幅 WING SPAN 1500mm SPANNWEITE
主翼面積 WING AREA 37dm² FLÄCHENINHALT
全備重量 WEIGHT 2200〜2400g GRWICHT
エンジン POWER 40 MOTOR 6.5cm
RCメカ R.C.MECHA 3〜4CHANNEL 3-4 KANAL FERNSTEUERUNG
Quick Built Series
Q.B.40S
OK MODEL CO.,LTD.



胴体の組立 FUSELAGE CONSTRUCTION



主翼の組立 WING CONSTRUCTION



パーツリスト・PARTS LIST

F-1	3㎜ベニヤ 側板
F-2	3㎜ベニヤ 側板
F-3	3㎜ベニヤ 内張補強
F-4	3㎜ベニヤ 内張補強
F-5	3㎜ベニヤ 内張補強
F-6	1.8㎜テーパーバルサ TAPERED BALSA
F-7	3㎜ベニヤ 胴枠
F-8	3㎜ベニヤ 胴枠
F-9	3㎜ベニヤ 胴枠
F-10	3㎜ベニヤ 胴枠
F-11	3㎜ベニヤ 胴枠
F-12	3㎜ベニヤ 胴枠
F-13	3㎜ベニヤ 胴枠
F-14	3㎜ベニヤ 胴枠
F-15	6㎜テーパーバルサ TAPERED BALSA
F-16	14㎜サクラ エンジンマウント HARD WOOD ENGINE MOUNT
F-17	3㎜ベニヤ 内張補強 PLYWOOD DOUBLER
F-18	3㎜ベニヤ 脚ギヤマウント PLYWOOD MAIN GEAR MOUNT
F-19	12㎜ベニヤ ハッチブロック HARDWOOD HATCH BLOCK
F-20	1.0㎜バルサ ハッチブロック BALSA HATCH BLOCK
F-21	10㎜バルサ ノーズブロック BALSA NOSE BLOCK
F-22	10㎜バルサ ノーズブロック BALSA NOSE BLOCK
F-23	10×10㎜バルサ三角材 TRIANGLE BALSA
F-24	10㎜テーパーバルサ TAPERED BALSA
F-25	15㎜バルサ テールブロック BALSA TAIL BLOCK
R-1	6㎜バルサ 垂直尾翼 BALSA V STABILIZER
R-2	6㎜バルサ ラダー BALSA RUDDER
R-4	6㎜バルサ フィン BALSA FIN
S-1	10㎜バルサ 尾翼前縁材 BALSA H STABILIZER L.E.
S-2	10㎜バルサ 尾翼後縁材 BALSA H STABILIZER T.E.
S-3	3×10㎜桧 尾翼補強材 SPRUCE
S-4	10㎜バルサ BALSA
S-5	10㎜バルサ BALSA
S-6	10㎜バルサ BALSA
S-7	40㎜テーパーバルサ エレベーター TAPERED BALSA ELEVATOR
W-1	3㎜バルサ リブ BALSA RIB
W-2	3㎜バルサ リブ BALSA RIB
W-3	10㎜テーパーバルサ 前縁材 TAPERED BALSA L.E.
W-4	10㎜テーパーバルサ 後縁材 TAPERED BALSA T.E.
W-5	2㎜バルサ メインスパー補強材 BALSA MAIN SPAR WEB
W-6	2㎜バルサ サブスパー補強材 BALSA SUB SPAR WEB
W-7	3㎜ベニヤ メインスパージョイナー PLYWOOD MAIN SPAR JOINER
W-8	3㎜ベニヤ メインスパージョイナー PLYWOOD MAIN SPAR JOINER
W-9	3㎜ベニヤ メインスパージョイナー PLYWOOD MAIN SPAR JOINER
W-10	6㎜バルサ 中央リブ BALSA CENTER RIB
W-12	6㎜バルサ 翼端材 BALSA WING RIB
W-13	6㎜バルサ BALSA
W-14	6㎜バルサ BALSA
W-15	6㎜バルサ BALSA
W-16	17㎜バルサ 翼端ブロック BALSA
W-17	13㎜バルサ 翼端ブロック BALSA
W-18	10㎜テーパーバルサ TAPERED BALSA
W-19	30㎜テーパーバルサ エルロン TAPERED BALSA AILERON
W-20	3㎜ベニヤ PLYWOOD
W-21	3㎜ベニヤ PLYWOOD
W-22	3㎜ベニヤ サーボマウント PLYWOOD SERVO MOUNT
●キット	キット一式 PLYWOOD
●3×80×900㎜バルサ	BALSA STOCK
●3×60×900㎜バルサ	BALSA STOCK
●3×60×450㎜バルサ	BALSA STOCK
●6×6×300㎜バルサ	BALSA STOCK
●6×6×900㎜桧 メインスパー	SPRUCE MAIN SPAR
●6×6×900㎜桧 サブスパー	SPRUCE SUB SPAR
●6×8×400㎜桧 プッシュロッド	SPRUCE PUSH ROD
●5ﾒ×120㎜竹棒	BAMBOO ROD
●プラスチック キャノピー	PLASTIC CANOPY
●ランディングギア	MAIN GEAR
●ベークライトマウント	BAKELITE MOUNT
●エレベーター接合	ELEVATOR JOINER
●コントロールホーン	CONTROL HORN
●エルロンホーン	AILERON HORN
●ﾐｭｰｼｯｸ&ｸﾞﾗｽﾍﾟｰﾊﾟｰ	MUSIC WIRE
●ボルト・ナット	BOLTS & NUTS
●組立説明書	CONSTRUCTION GUIDE
●図面	FULL SIZE PLAN

製作の前に

組立てを始める前に組立に入っているパーツと説明書のパーツリストをてらし合わせて、パーツが紛失していないかよく調べてください。ダイナットされているのパーツは部品番号が印刷されています。他のパーツは原寸で載されている部品表を見て材質や厚みによって必要な本数を確認してください。部品番号のF とかWといったアルファベットは、そのパーツがどこに使われるかを示すもので、F は胴体、W は主翼、R は垂直尾翼、S は水平尾翼のパーツになります。又、番号は組立て順になっていますので順序よく組立ててください。胴体及び主翼の製形に使う、サンドペーパーは最低4枚あるとのみにまってサンペンダるときれいに仕上がることができます。

胴体の組立

【写真・1】 胴体のパーツをキットから選び出します。ダイナットされている3㎜ベニヤ・パーツは1ていねいに抜き取ります。側板はダイナットされていない面を表にして組立てます。胴体を組立てる前に、側板F－1、F－2を接着し、内張補強F－3～F－5を側板の各部位に正確に接着しておきます。接着剤が完全に固まれば、側板の後端にF－6をはさんで接着し胴枠F－7～F－14までを側板のミゾに差込み、ねじれないよう注意しながら接着します。次に側板の両外側より10×10㎜位の型木を各々てゴム・バンドで締めて止めると側板と胴枠とが密着します。胴枠から見て胴体が反りていないかよく調べ、もし反りしているようなら接着剤が固まるならいうちに正しく修正しておきましょう。次に補強ギヤ－15及びF－6を側パルサ材をヤすべり角度ぶ合ぶ合いの胴枠F－6～F－9の三ツに切り出し、胴枠に密着するように修正して胴体にキャノピーボンドで接着します。最後に主翼取付用のW材を取付けます。竹棒の取付けは、機体の仕上げ（フィルム又は塗装）が終わった後で取付け接着します。

主翼の組立

【写真・8】 主翼の製作に入ります。主翼は飛行機の性能を大きく左右する大切な部分ですので組立ては平らな台の上で正確に、そしてあわてずに行なわなくてはいけません。また、部品を接着した後は接着剤が完全に固まるまで、じっくりと待ってください。まず、図面を平らな台の上に置いて、しわなどのないことを確認します。その図面の上でリブW－1、W－2、W－3の各種リブ材をはめ込んで接着しておきます。この時、主翼中央より1枚目のリブW－2は図面のように力がシルーのがメインスパーの前を通りますので、リブをメインスパーの所で前後に切断し、メインスパーより後のリブだけ図面に合わせて正確に接着します。このようにすれば主翼を組立てやすくする。前後から見て翼がねじれていないかよく確かめ、もし、ねじれているようなら接着剤が固まるならいうちに修正しておきます。次にメインスパー補強材W－5を片翼ごとにメインスパーの前に接着し、つづいてサブスパーも片翼ごとにサブスパーの上の間にはめ込んで接着します。

【写真・9】 メインスパー：カンザシW－7、W－8及びサブスパー：カンザシW－9を使って両翼を接合します。まず、両翼の端合部（前縁材、後縁材、メインスパー）を互角に合わせて修正しメインスパーの前に W－7を、後には W－8を接着します。中央リブW－1（2は前縁とメインスパーの間、メインスパーとサブスパーの間、サブスパーと後縁の間の3つに分けてそれぞれ接着します。

【写真・10】 主翼前縁部分の上下面及び主翼中央上面を2㎜バルサを縦目（スパーの方向）になるように張ってプランクします。中央部の上面は、メインスパーとサブスパー、サブスパーと後縁材の2つに分けてプランクします。
※プランクはの上面がスパーなどと平らになるよう、又、すきまのできないよう注意してください。

【写真・11】 翼端材W－11を接着します。まず、主翼今端のリブW－1の外側を平らに整形し、W－11を接着します。W－11のメインスパーなどを使って正確に合わせ、W－13をサブスパー位置にW－14、W－15を、前縁部にW－16、W－17をそれぞれ接着できます。

【写真・12】 主翼中央の下面をプランクします。上面と同じようにプランクしてゆきますが、下面にはエルロンのサーボマウントを取付けます。まず、マウントをW－22、W－21を中央リブをW－1取って接着します。サーボマウントW－22は使用するサーボに合わせて穴をくり抜いておきます。
エルロンの取付けはまず、中央部分の位置にW－20を取付けます。後縁材とW－18との間にきっちりとはまり込むようにします。ホーンの動くストローク分だけ、タテにもヨコも入れておきます。ホーンが動くように、ホーンの動く部分にW－18を後縁材に接着します。エルロンW－19はヒンジを使って万分のないよう後縁材に取付けてください。

【写真・13】 翼端及び前縁材を図面のように大くなるようバルサカンナ、サンドペーパーなどを使って整形します。主翼全体をサンドペーパーでできれいに仕上げてください。プランク部のペーパーがは、あまり力を入れてひかなると、リブの入っている部分がへこんできて凹になってしまいますのでは注意してください。

【写真・14】 出来上がった主翼を胴体に仮組みして各部所が正確にできているか調べます。寸法通りでいかなければ、パテなどをつめておきます。最後に目の細いサンドペーパーできれいに仕上げてください。

RCメカの積込みと重心位置

QBシリーズ、QB40Sは、ラダー、エレベーター、エルロン、エンジン・コントロールの4つの部分を動かすチャンネルが取付けます。メカの積込みは図面の位置にエンジン、燃料タンク、バッテリー、受信機、サーボなどを仮に積み込みます。機体に対している重心チェックポイントの印の所を指でささえて胴体が水平におりり合うようバッテリーなどの重いメカを移動させます。このチェックポイントは、図面で示していて必ず重心位置に合わせるようにしてください。主翼を主翼を取付けた時ちょうど前縁から3.0%の正しい位置に重心がくるようにしています。バッテリーと受信機をスポンジでやわらかくつんだあと、重心を合わせた時の位置に積み込みます。
スイッチは、エンジンの後側ロと反対側に取付けます。図面で示している配角は、舵の動く角度、いいかえれはエルロンやエレベーターの動く範囲で、図面に記入されている動作に合わせてください。もし、舵角がかなりずれていて図面通りに動かない時は、ホーンの位置をずらしてください。また、取付にかさいと舵がきかなくて、これもまた規ばしくいしのです。したがって指定の舵角になるよう、サーボホーン又はコントロールホーンの穴の位置を少又て最適の舵角になるようにセットしてください。

FUSELAGE & STABILIZER CONSTRUCTION .....

(1) Joint front sidepanel F-2 and rear sidepanel F-1. Glue inside doubler F-3 through F-5 to the sidepanel. Glue F-6 between the tail ends of sidepanels. Insert fuselage bulkheads F-7 through F-14 into the appropriate notches in the sidepanels. Glue 6x6mm balsa stringer and two F-15 into the notches in the bulkheads F-7 through F-10.

(2) Insert and epoxy the engine mounts F-16 into the holes of F-12 through F-14. Glue F-17 into the place with epoxy. Glue maingear mount F-18 and F-19 into the place with epoxy. Attach the nose gear bearing to the front of firewall F-14 with bolts and nuts. Put the engine mounting bolts on the engine mounts F-16 in the bolt hole in the engine mount in the kit. Plank bottom of the fuselage with 3mm balsa sheets.

(3)(4) Plank top of the rear fuselage with 3mm balsa sheets. Glue F-21 and 3x6mm balsa stock to the bottom of hatch F-20.

(5) Glue S-3, S-5 and two S-6 to the Stab. trailing edge S-2. Glue S-4 and leading edge S-1s to the front of frame. Put and glue 3x10mm balsa Stab. ribs into the notches in the leading and trailing edge members. Round the edges of the H.Stab. and elevators S-7 and then sand entire assembly. Attach the elevators S-7 to the trailing edge of H.Stab. with hinges. Glue R-1 and R-2 together and then smooth V.Stab. assembly and rudder R-3 with sand paper. Attach the rudder on to the trailing edge of V.Stab. with hinges.

(6)(7) Glue balsa blocks F-22 through F-24 into the correct position. Glue completed H.Stab. on to the fuselage. Put and glue V.Stab. on the center of H.Stab. and then glue F-25 to the root of V.Stab. with epoxy. Round the edges of fuselage with knife and balsaplane. Finally, smooth entire surface of fuselage with sand paper.

WING CONSTRUCTION .....

(8) Glue ribs W-1 and W-2 into the notches in the trailing edge W-4 and leading edge W-3. Put the 6x6mm spruce main spars and 3x6mm spruce sub spars into the notches in the ribs. Glue spar webbing W-5 and W-6 between each ribs.

(9) Joint the wing halves together by gluing W-7 through W-9. Separate the center rib W-10 to three pieces and then glue into the wing.

(10) Plank top and bottom of leading edge and top of center wing with 2mm balsa sheets.

(11) Glue wing top plate W-11 and balsa formers W-12 through W-17 to the outside of top rib W-1.

(12) Hollow the servo tray W-22 and center rib W-10 to fit your servo. Glue W-20 and W-21 to the spar joiners and then put and glue W-22 on the correct position. Plank bottom of center wing with 2mm balsa sheets (except the servo trey area). Put the aileron horn to the aileron and then attach the aileron to the trailing edge with hinges. Glue W-18 to the center of trailing edge.

(13) Round the leading edge with knife and sandpaper and then smooth entire of the wing with sandpaper.

(14) Cut the plastic canopy as follow the cutting line with a pair of scissors and knife. Glue C-1 to the inside of canopy. Glue the wind shield on the hatch and canopy on the wing.

Zur Auswahl dieses Modelles, Ihrer Q.B. 40S kann man Ihnen nur gratulieren. Ihr Modell verfügt nicht nur über excellente aber dennoch gut beherrschbare Flugeigenschaften, es ist außerdem so stabil, wie man dies eigentlich von jedem Kunstflugtrainer erwarten sollte. Dabei hat Ihr Modell noch einen Vorteil, den Sie erst jetzt beim Zusammenbau spüren werden: geringe Bauzeit und einfacher Aufbau aufgrund einer voll durchdachten Konstruktion. Sie beginnen den Bau Ihres Modells am besten in der nachstehenden Reihenfolge.

Aufbau des Rumpfes

Leimen Sie zwischen die Rumpfseitenwände am Ende des Rumpfes das Balsaformteil FG, das den Heckkorz bildet und die Verstärkungen F-3.. Anschließend leimen Sie die Spanten F-7 bis F-12 ein. Sie werden merken, daß diese Spanten exakt in die Aussparungen der Seitenwände S-1 passen. Verleimen Sie dann die Spanten F-13 und F-14, die zusammen den Kopfspant bilden, miteinander. F-13 ist dabei rings um die Beplankungsstärke dünner als F-14. Achten Sie darauf, daß in die Aussparungen für die Motorträger F-16 kein Leim eindringt. Schrauben Sie das Bugfahrwerk, das Fahrwerkbrähen (dünn) sich dann vor Spant 14/13, und leimen Sie den Spant und die beiden Motorträger F-16 ein. Sind diese Leimungen trocken, beplanken Sie zuerst die Rumpfoberseite von Spant F-7 bis F-10, nach dem Sie vorher die 6x6mm Balsahölme in die Spanten eingelassen hatten. Bringen Sie auch jetzt schon den Frontklotz F-24 an. Anschließend beplanken Sie die Rumpfunterseite. Fangen Sie mit der Fahrwerksauflage F-16 an und bringen Sie anschließend die 3mm Balsabeplankung nach vorn und hinten an. Bauen Sie jetzt die Verkleidung der Rumpfspitze ein. Sie besteht aus den Teilen F-17 und F-22 und F-23. Anschließend passen Sie den Tankraumdeckel genau ein und verschleifen ihn mit der Rumpfkontur. Der nun bis auf die Kabine fertige Rumpf wird sauber verschliffen und vorerst zur Seite gelegt. Wir beginnen anschließend mit dem.

Bau der Leitwerke

Da das Höhenleitwerk nur mit der linden Hälfte abgebildet ist, kopieren wir es zuerst mit Transparentpapier, drehen dies dann um, und zeichnen (auf die Rückseite des Papiers) das Höhenleitwerk noch einmal. Wir erhalten so den gesamten Leitwerkzauffrß, auf dem wir das Leitwerk zusammenbauen. Zuerst heften wir die Endleiste S-1 auf die Zeichnung, leimen dann die Versteifung S-3 davor. Dann wird das Mittelteil S-5 und die Randbogen S-6 vor die Endleiste geleimt und dann die Rippenleisten aus 3x10mm Balsaleisten eingesetzt. Zum Schluß wird die Nasenleiste S-4 eingeleimt. Ist das Leitwerk trocken, wird es sauber geschliffen und alle Außenkanten abgerundet. Wir bringen jetzt auch die Schlitze für die Scharnniere in das Höhenruder und die Höhenruderklappe. Die Scharniere werden erst nach dem Bespannen des Modells fest eingeleimt. Anschließend bauen wir das Seitenleitwerk zusammen. Zuerst werden die Teile R-1 und R-2 miteinander verleimt und verschliffen, auch hier werden die Außenkanten abgerundet und die Schlitze für die Scharniere angebracht. Seitenruderdämpfungsflosse (S-1 + S-2) und Seitenruder erst nach dem Bespannen mit den Scharnieren endgültig verbinden. Leimen Sie zunächst das bereits fertige Höhenleitwerk auf den Rumpf, seine Hinterkante muß rechtwinklig zur Rumpfmittellachse sitzen und außerdem absolut horizontal sein. Leimen Sie dann auf das Höhenleitwerk das Seitenleitwerk auf, es soll senkrecht und genau in der Rumpfmittelachse sitzen. Anschließend werden die beiden Verstreifungen R-25 auf beide Seiten des Seitenleitwerks geleimt. Sie sollten so verschliffen werden, daß sich ein aerodynamisch guter Übergang vom seitenzum Höhenruder ergibt. Als vorläufig letzte Arbeit am Rumpf wird der Leitwerkstummel R-4 unter den Rumpf geleimt. Wir können jetzt mit dem

Bau der Tragflügel

beginnen. Auch hier ist auf der Zeichnung nur die linke Flügelhälfte abgebildet. Das soll uns zunächst nicht stören, da beide Flughälften getrennt aufgebaut werden. Wir bauen auf der Zeichnung, die wir vorher mit durchsichtiger Plastikfolie überziehen, zuerst den linken Flügel zusammen. Anschließend drehen wir die Zeichnung um und dien die Rückseite der Zeichnung kräftig ein. Sofort werden die Konturen des Flügels wieder sichtbar; da wir diesen jetzt von hinten sehen, haben wir den rechten Flügel, bzw. dessen Zeichnung vor uns. Wir heften zuerst den unteren Hauptholm auf die Zeichnung, dann die hinteren Hilfsholm aus 6x6 Kiefer und den oberen Hauptholm aus 6x6 Kiefer und die oberen Hilfsholm aus 3x6 Kiefer ein. Danach werden Nasenleiste und Endleiste eingeleimt. Bringen Sie auch jetzt schon den Randbogen W-11 und die Randbogenverstreifungen W-12–14 an. Ehe Sie die Wurzelrippe W-10 einleimen fertigen Sie eine Schablone für den Einbau dieser Rippe an. Die Schablone kann anhand der V-Form - Zeichnung (unterhalb des Flügels) angefertigt werden. Die Wurzelrippe muß also genau um 3o nach innen gekippt eingeleimt werden, damit beim spätesten Verleimen der Flächenhälften die V-Form auch erreicht wird. Als nächstes werden die Verstreifungen für den Hauptholm W-5 und auch die für den Hilfsholm W-6 eingeleimt. Anschließend werden Oberund Unterseite des Flügelmittelteils und der Nase bis zum Hauptholm mit 2mm Balsa beplankt. Die rechte Flügelhälfte wird in der gleichen Weise aufgebaut. Da beide Flügelhälften zum Schluß miteinander verleimt werden, empfiehlt es sich, die Rahtstelle mit einem Streifen Glasgewebe und Polyesterharz zu verstärken (nicht im Baukasten enthalten). Schneiden Sie nach dem Verleimen der Flügelhälften einen Ausschnitt für das Querruderservo und dient Halterung und bauen Sie das Querruder ein. Anschließend wird der geamte Tragflächen sauber verschliffen. Bringen Sie wieder die Schlitze für die Querscharniere an, nachdem Sie diese vorher angepaßt haben. Als nächstes wird die Querruderlenkung eingeleimt und die Verstreifung W-18 dahintergeleimt. Achten Sie hierbei darauf, daß die Querruderlenkung gängig bleibt und nicht festgeleimt wird. Sie können am nächsten Ihre

Fernsteuerung und den Motor montieren

und die Gestänge anfertigen. Eine schematische Darstellung über den Einbau Ihrer Fernsteuerungen finden Sie in der Rumpfseitenansicht und der Rumpfdraufsicht. Die eingezeichneten Positionen sollten nach Möglichkeit eingehalten werden, da sich sonst eine Verschiebung des Schwerpunktes ergeben könnte. Sie können jetzt auch den Motor und den Tank einbauen. Den Motor und den Tankraum sollten Sie mit einem guten Kunstharzlack mehrfach und gründlich lackieren. Jetzt kann Ihr Modell bespannt werden. Wir empfehlen Ihnen, dafür Supermonokote zu verwenden, da wir mit dieser Folie bisher die besten Erfahrungen gemacht haben. Anschließend werden Seiten- und Höhenund Querruder endgültig fixiert. Festlegen des Schwerpunktes. Bei eingebauter Fernsteuerung und montiertem Tank sollte das Modell, wenn die Ruder unter dem Flügel am eingezeichneten Schwerpunkt unterstützten eine leicht nach unten ausgerichtete Lage (wie beim normalen Gleitflug) einnehmen. Diese Schwerpunktlage muß unbedingt erreicht werden. Stimmt sie nicht, muß entweder der Einbau der Fernsteuerung verändert werden oder mit Trimmblei nachgetrimmt werden.

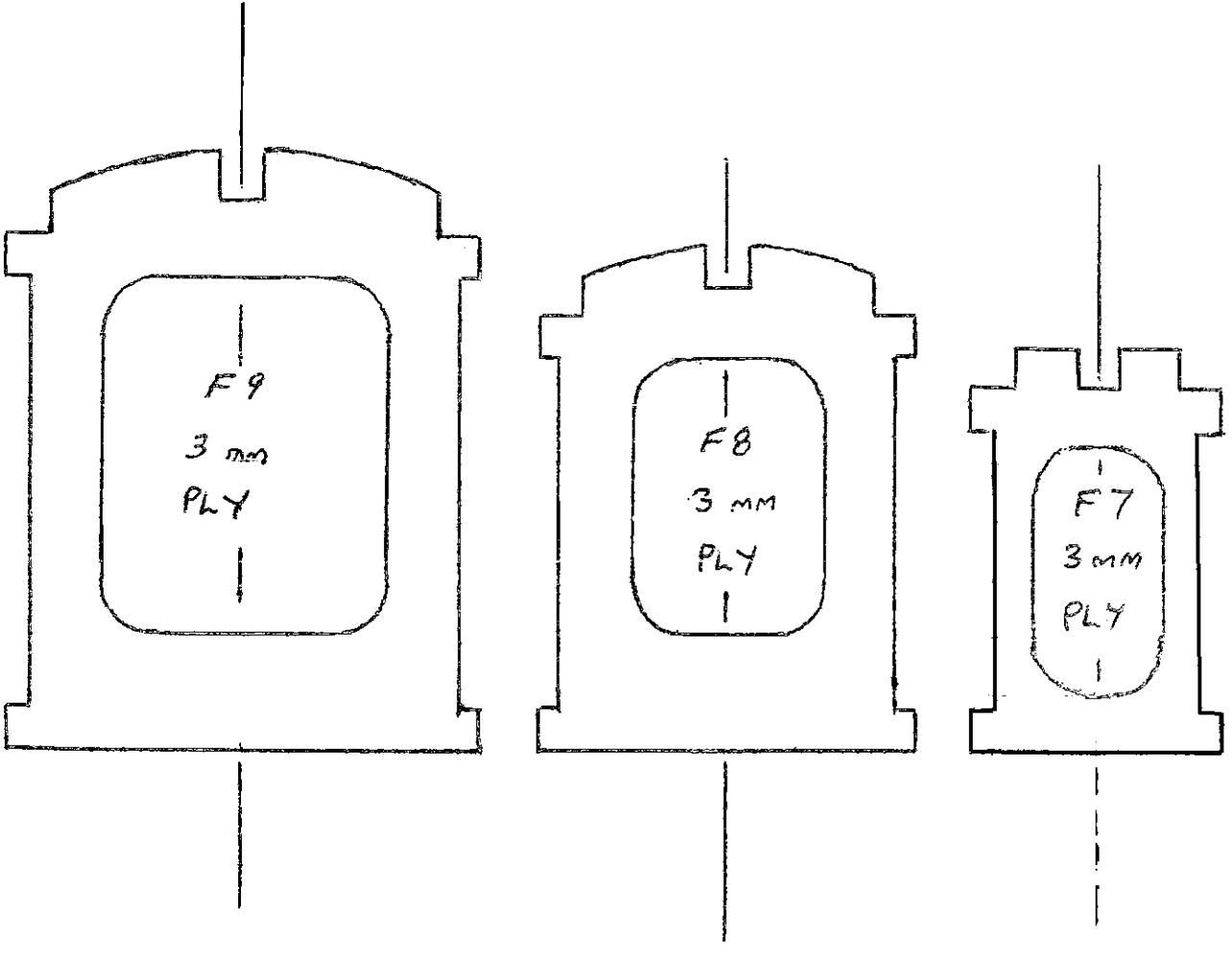
Wir wünschen Ihnen viel Spaß mit Ihrer Q.B. 40S und viele glatte Landungen.

PILOT CONSTRUCTION GUIDE

Quick Built Series Q.B.40S

組立説明書

OK MODEL CO.,LTD.


F9
3 mm
PLY
F8
3 mm
PLY
F7
3 mm
PLY